別記様式第8号

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告（平成28年度報告）

事業実施主体名　　五ヶ瀬町有害鳥獣対策協議会

1　被害防止計画の作成数、特徴等

シカ、イノシシ、カラス・サルを対象としており、個体数調整の取り組みや侵入防止柵の設置等、本計画により有害鳥獣被害防止対策を図ることとしている。

2　事業効果の発現状況

・地域の体制整備

町協議会での取組の他、西臼杵3町・JA・NOSAI・森林組合・集落代表者等で構成される「西臼杵地域鳥獣被害対策特命チーム」と連携しながら、効果的な鳥獣被害対策の取組んでいる。

・捕獲状況

有害捕獲の支援やくくりわなの導入により高い捕獲圧の維持が図られている。また、定期的な情報交換を行うことで、捕獲技術の向上や獣の生息域の把握に努めている。

・人材育成状況

高齢化している狩猟者の現状を踏まえ、各地域の捕獲班や猟友会支部を通じて新規狩猟免許取得の掘起しに努めている。また、鳥獣被害対策に係るモデル地区を設置し、関係機関と連携して研修会を実施し、鳥獣被害対策への意識向上に取組んだ。

3　被害防止計画の目標達成状況

シカ、イノシシ、カラスいずれも被害面積と被害金額の目標を達成することができた。一方で、まれに出現するはぐれザルの被害面積目標を達成できなかった。

4　各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名（協議会名）	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績									事業実施主体の評価	都道府県の評価
										獣種	被害金額				被害面積					
											現状値（24年度）	目標値（28年度）	実績値（28年度）	達成率	現状値（24年度）	目標値（28年度）	実績値（28年度）	達成率		
五ヶ瀬町有害鳥獣対策協議会	五ヶ瀬町	26年度	－	－	－	－	－	－	－					#DIV/0!				#DIV/0!	有害捕獲の推進と防護柵の整備によりシカ・イノシシの被害面積・被害金額は大幅に減少した。しかしながら、依然として高い被害水準であるため、引続き有害捕獲の支援を行い、捕獲圧を維持する。併せて、防護柵整備要望地区の解消と、整備済地区においては維持管理の重要性や集落点検への啓発を行い、持続的・自主的な鳥獣被害対策への意識醸成を図る。	被害金額、被害面積ともに全体としては目標達成となった。 イノシシとシカの被害金額・面積は大幅に減少しており、その要因として鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した有害鳥獣の捕獲体制の強化や侵入防護柵の整備が一因と考えられる。 また、本事業により侵入防止柵の設備が継続的に効果を発揮するために、日常的な点検を行っていただきたい。更なる被害軽減のため、集落内において正しい対策の浸透を促すための研修会等を実施してくべきだと考える。
	五ヶ瀬町	27年度	シカ イノシシ	有害捕獲 ・シカ ・イノシシ	610頭 495頭	五ヶ瀬町有害鳥獣対策協議会	H27	100%	有害捕獲により個体数の減少を図った。	シカ	30,163千円	21,114千円	10,020千円	223%	14.04ha	9.82ha	4.66ha	222%		
										イノシシ	65,818千円	46,072千円	12,025千円	272%	25.62ha	17.93ha	7.67ha	233%		
										カラス	11,924千円	8,346千円	2,955千円	251%	2.26ha	1.58ha	0.16ha	309%		
										サル	150千円	105千円	116千円	76%	0.01ha	0.005ha	0.03ha	-400%		
	五ヶ瀬町	28年度	シカ イノシシ	・くくりわな ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ柵 ・電気柵（4段） ・有害捕獲 シカ イノシシ	15基 4,610m 14,622m 14,250m 573頭 608頭	五ヶ瀬町有害鳥獣対策協議会	H28	100%	わな導入による捕獲圧の維持と、防護柵整備に伴う圃場への侵入防止により、鳥獣被害に強い環境整備が図られた。併せて、有害捕獲により個体数の減少を図った。					#DIV/0!				#DIV/0!		
														#DIV/0!				#DIV/0!		
														#DIV/0!				#DIV/0!		
														#DIV/0!				#DIV/0!		
										合計	**108,055千円**	**75,637千円**	**25,116千円**	**256%**	**41.93ha**	**29.34ha**	**12.52ha**	**234%**		

注：被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

達成率（%）＝（基準年－実績値）／（基準年－目標値）×100

5　第三者の意見

コメント

これまでの侵入防止柵の整備と合わせた捕獲対策の強化により、シカ、イノシシについては目標の達成に至っている。しかし、依然として水稲、野菜、飼料作物を中心に被害が大きいことから、更なる被害軽減のためには、これまでの防護柵の設置や捕獲対策に加え、「無自覚の餌付け防止」や「守れる集落づくり」、集落の環境整備、防護柵等の設置および維持管理、サルに対する追い払い等を含めた、総合的な被害対策の啓発を行い、集落の自己防衛意識を向上させることが必要である。（農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー　岩佐宏登）